

ICTを活用した広報・広聴の検討について（中間報告）

令和2年度の議会改革の検討事項「議会のICT化」の具体的検討に当たり、議会運営委員会議会改革検討小委員会から令和2年6月22日付けで検討依頼のあった以下の事項について、現在の検討状況を報告する。

【検討依頼事項】

- 1 聴覚バリアフリーへの対応の必要性について
- 2 HP、SNS等の更なる活用について
- 3 「開かれた議会」の観点からICT設備（モニター装置、スクリーン等）の必要性・その活用について

◎スケジュール

- 7月・8月 検討の進め方等 【協議・決定】
9月～11月 検討 【資料収集、意見聴取、視察等】
12月・1月 検討結果報告(案) 【協議・決定】
2月 議会改革検討小委員会へ検討結果報告

◎具体的検討項目と検討状況

	検討項目	検討状況
1	◎ 傍聴、テレビ・インターネット中継における「聞こえ」に関するバリアフリー対応	<p>➢ 聴覚バリアフリーの取組は進めるべきという認識で一致</p> <p>➢ 字幕配信サービスが適しているとし、AIかオペレーターによるものか、どちらのサービスが良いか（速報性と精度、費用対効果など）、多角的に検討中</p> <p>〔※ オペレーターによるリアルタイムの文字配信とした場合、インターネット中継の他、傍聴席でも利用可能〕</p>
2	◎ ペーパーレス議会におけるデジタル化された執行部資料の活用	<p>➢ 執行部からペーパーレス議会用に（デジタル媒体で）資料が提出されることとなった場合、当該資料のホームページへの掲載や、SNSを通じた情報発信など行うべきとの認識で一致</p> <p>➢ その他、議会独自に、校正前の会議録を速報版として発信することについて検討中</p>
3	◎ 「開かれた議会」の観点から必要なICT設備の設置・活用	<p>➢ 傍聴者に対する字幕配信サービスのためのモニター設置について検討中</p>
他	◎ ICT化を見据えた議会図書館の在り方	<p>➢ 図書、資料のシステム管理による蔵書検索機能の強化などについて検討中</p>